

いにしえ  
「古の時代から続く街道浪漫 悠久の歴史を歩く」シンポジウム  
(主催：竹内街道・横大路(大道)活性化実行委員会)に社会学科  
藤谷厚生(ふじたに あつお)教授がパネリストとして登壇  
～ 2019年2月24日(日) 13:30～16:30 一橋大学 一橋講堂にて～

四天王寺大学(大阪府羽曳野市、学長：岩尾 洋)の社会学科 藤谷厚生教授が「古の時代から続く街道浪漫 悠久の歴史を歩く」シンポジウムにパネリストとして登壇します。このシンポジウムでは2017年に日本遺産として認定された「竹内街道・横大路(大道)」の魅力や歴史的役割を政治・経済・文化等の視点で解き明かし、理解することを通して、現代社会に生きる我々の学びとします。

**シンポジウム**  
竹内街道・横大路(大道)  
～難波から飛鳥へ日本最古の官道～

いにしえ  
**古の時代から続く街道浪漫  
悠久の歴史を歩く**

日時 2019年2月24日(日)  
13:00開場 13:30開演(16:30終了予定)  
会場 一橋大学 一橋講堂  
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階)

シンポジウムでは、古(いにしえ)の時代の原風景を色濃く残し、心に強く語りかける竹内街道・横大路の魅力、その歴史的役割をさまざまな角度から解き明かしていきます。そして、悠久の街道文化を見つめ直し、最古の官道を深く理解することを通して、私たちの「心のあるまじと」の風景をみなさんと考えます。

**参加費無料**  
定員500名

**シンポジウム 申し込み方法**  
ハガキかFAXまたはメールに「郵便番号」住所①氏名②年齢③電話番号④参加人数⑤申込のうえ、下記までお送りください。抽選のうえ、当選者に参加費をのせ戻します。

**お問い合わせ**  
産経新聞開発部 電話番号/06-6633-6834 平日9:30～17:00(土・日・祭日休)

**当日のスケジュール**  
13:30 オープニング(第1部)  
13:35 特別講演① 「竹内街道・横大路(大道)の文化力」  
[講師] 里中 満智子氏(マンガ家)  
14:25 特別講演② 「松尾芭蕉と竹内街道」  
[講師] 嵐山 光三郎氏(作家)

**当日のスケジュール**  
15:15 パネルディスカッション  
「悠久の浪漫街道 時間旅行への誘い」  
ゲストスピーカー：里中 満智子氏  
コーディネーター：山上 直子氏(産経新聞論説委員)  
パネリスト：倉本一宏氏(国際日本文化研究センター教授)  
館野和己氏(近つ飛鳥博物館 館長)  
藤谷 厚生(本学 社会学科教授)

■シンポジウム概要(参加費無料、定員500名、事前申込制)  
日時：2019年2月24日(日) 13:00開場13:30-16:30(終了予定)  
場所：一橋大学 一橋講堂  
(東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階)  
主催：竹内街道・横大路(大道)活性化実行委員会  
共催：産経新聞社

■お申し込み・お問い合わせ  
産経新聞開発部 電話番号/06-6633-6834 平日9:30～17:00  
Eメール/ [t-sinpo@esankei.com](mailto:t-sinpo@esankei.com)

件名に「竹内街道シンポジウム」本文中に①郵便番号  
②住所③氏名④年齢⑤電話番号⑥参加人数をご記入ください。  
締め切り：2019年2月12日(火) 必着

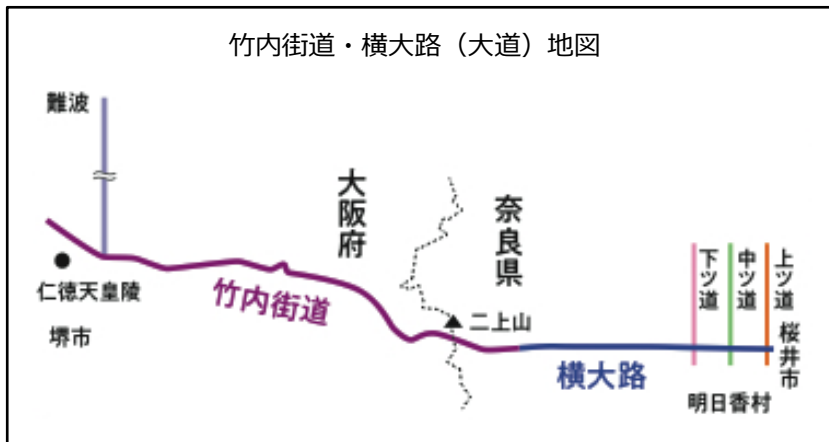
■当日のスケジュール  
13:30 オープニング  
(第1部)  
13:35 特別講演① 「竹内街道・横大路(大道)の文化力」  
[講師] 里中 満智子氏(マンガ家)  
14:25 特別講演② 「松尾芭蕉と竹内街道」  
[講師] 嵐山 光三郎氏(作家)

(第2部)  
15:15 パネルディスカッション  
「悠久の浪漫街道 時間旅行への誘い」  
ゲストスピーカー：里中 満智子氏  
コーディネーター：山上 直子氏(産経新聞論説委員)  
パネリスト：倉本一宏氏(国際日本文化研究センター教授)  
館野和己氏(近つ飛鳥博物館 館長)  
藤谷 厚生(本学 社会学科教授)

【本件に関するお問い合わせ】

## ■ 竹内街道・横大路（大道）とは

推古天皇21（613）年に敷設された竹内街道・横大路（大道）は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小墾田宮（おはりだのみや）を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社（奈良県葛城市）を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋（桜井市）を結ぶ横大路から飛鳥にいたる上・中・下の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖徳太子信仰、物流の拠点をつなぐ経済など多様な表情を刻んできている。2017年に日本遺産に認定された。



## ■ 藤谷 厚生（ふじたに あつお）社会学科教授ご紹介



1962年大阪府生まれ。大阪大学文学部哲学科卒業、龍谷大学大学院仏教学専攻博士課程修了。法隆寺昭和資財帳編纂所室長などを経て、四天王寺大学教授、同大学仏教文化研究所主任研究員、日本仏教学会理事に。専門は日本仏教思想、宗教社会学。著書「智慧をもとめて」（実教出版）、共著「現代社会への多様な眼差し」（晃洋書房）、論文「近世戒律復興と野中寺律僧坊」など。

## ■ 四天王寺大学

約1,400年前、聖徳太子が創建された日本最古の学問所である四天王寺敬田院（きょうでんいん）を起源とし、「和のこころ」を共通理念に「自由の精神」「共感」「調和」を体得できる教育を現代まで受け継いでいる。2019年4月看護学部開設。

公式HP：<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/>

【本件に関するお問い合わせ】

四天王寺大学 四天王寺大学短期大学部 入試・広報課 担当：昼馬・三原  
TEL：072-956-3183 FAX：072-956-7231 Mail：kouhou@shitennoji.ac.jp